

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業		障害者施設運営管理事業		担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3318	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市生活ホーム事業費補助金交付要綱・深谷市共同生活援助等事業費補助金交付要綱・深谷市生活ホーム事業実施要綱、深谷市在宅重症心身障害児（者）の家族に対するレスパイトケア事業補助金交付要綱				
	小項目	3	障害者福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		数人の障害のある方が共同で生活し、同居あるいは近隣に居住している専任の世話人によって、食事や日常生活に必要なサービスが受けられる施設を設置している事業者に対して、運営費を補助する。また、医療的ケアが必要な在宅の重度心身障害児（者）の家族に対しレスパイトケアを提供する事業者に対し、運営費を補助する。								
目的 ※何のために		障害者の自立、地域生活の支援。								
対象 ※誰・何を対象に		18歳以上の身体障害者・知的障害者・精神障害者の手帳を持つ人								
手段 ※どのように		事業所（生活ホーム、共同生活援助、レスパイトケア）へ運営費等の補助金を交付								
成果 ※何を求めるか		障害者が地域で安心して自立した生活が営めることができるよう住居の提供をする。また、在宅の医療的ケア児者が地域で安心して生活できるよう、レスパイトケアを提供する。								
執行体制		■ 職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	障害者施設運営管理事業	3,800,978
本事業の 主な業務		・グループホーム運営費補助金の交付					・			
		・生活ホーム運営費補助金の交付					・			
		・レスパイトケア事業補助金の交付					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付	グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付	グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付	グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付	グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付 レスパイトケア補助金交付	グループホーム補助金交付 生活ホーム補助金交付 レスパイトケア補助金交付
事業費	予算（現額）	6,562,000	6,840,000	5,158,000	8,124,000	4,987,000	19,886,000
	決算額	4,579,305	5,348,577	4,410,115	5,819,646	3,800,978	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	12,821,000
		県支出金	2,235,000	2,674,000	2,908,000	1,899,000	3,531,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	2,344,305	2,674,577	2,206,115	2,911,646	1,901,978	3,534,000
人件費	従事職員数（人）	0.36	0.21	0.23	0.26	0.28	0.37
	人件費相当試算※	2,800,440	1,634,220	1,808,030	2,115,360	2,173,337	3,008,599
総事業費試算		7,379,745	6,982,797	6,218,145	7,935,006	5,974,315	22,894,599

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	実績値										
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式											
活動指標 1	共同生活援助運営費補助申請 件数	目標値	件								
		実績値		4	3	3	4	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数のため目標値は設定できない。/年申請件数								
	実績値の算出式										
活動指標 2	生活ホーム運営費補助申請件 数	目標値	件								
		実績値		2	2	3	3	3	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数のため目標値は設定できない。 / 年申請件数								
	実績値の算出式										
活動指標 3	レスパイトケア事業申請事業 所数	目標値	件								
		実績値		0	0	0	2	2	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式							申請件数			
成果指標 1	各施設入所人数	目標値	人								
		実績値		22	19	14	16	20	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		施設等利用者集計のため目標値は設定できない / 各施設入所人数の合計								
	実績値の算出式										
成果指標 2	施設入所補助金交付額	目標値	千円								
		実績値		4579.31	5358.58	4411	4290	2880.98	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるので目標値は設定できない。 / 補助金交付額の合計								
	実績値の算出式										
成果指標 3	レスパイト事業補助金交付額	目標値	千円								
		実績値		0	0	0	1530	920	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるので目標値は設定できない。 / 補助金交付額の合計								
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	申請があった事業者に対し、共同生活援助運営費の補助、生活ホーム運営費の補助、レスパイトケア事業の運営費の補助をそれぞれ実施することができた。 申請件数の推移としては、全事業が前年度と同件数であった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	前年度と比較し施設入所補助金、レスパイトケア事業補助金ともに減少した。申請件数は同数であるが入所施設補助金交付額が減少した理由は、年度途中でグループホーム補助金対象施設が1施設減少したこと、生活ホーム利用者2名が退所したためである。
			評価者 給付係長 吉田雅之

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	・事業所からの申請に基づき、各補助金交付事業を適切に行うことができた。 ・「申請書等の手続における押印等の見直し計画」に基づき、生活ホーム事業、レスパイトケア事業の各申請書から押印を廃止し、手続きの効率化を図った。
			評価者 給付係長 吉田 雅之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	障害者施設運営管理事業	担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3318
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		地域での自立した日常生活や社会生活を希望する障害者が、必要な指導・支援を受けながら、地域で生活できる施設の運営を助成することが必要であるので、共同生活援助、生活ホーム事業所への助成を継続して実施する。また、在宅の医療的ケア児者が地域で安心して生活できるよう、レスパイトケア事業者の運営の助成を継続して実施する。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	障害福祉課長 浅田 朱美				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

